～日本の諸地域 東北地方～

単
元
名

祭りや年中行事の伝統とその変化

教科書出版社名 (東京書籍)

○ 中学校 (2) 年 教科等 (社会)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

地方の自然環境の影響を受けながらも人々がどのように生活をしているのかを理解する力

『祭り』を中核として学習を進め、共通点や目的の変化、さらなる発展のための工夫について様々なツールを活用して考える力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

自分の課題解決に必要な情報を選択し、情報を比較してより最適な方を選ぶ力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…東北地方の祭りの特徴について、資料やタブレット端末で調べる。
- 整理・分析…集めた情報を比較し、正しい情報を選択する。
- まとめ・表現・発信…スライドやワークシートにまとめる。

○ 学習の展開 (全 5 時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)

(単元の流れを簡潔に記入してください)

第 1 時 東北地方をながめて	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の単元を貫く問いを確認し、予想を立てる。 ・東北地方の自然環境の特色を気候や地形から考察する。
第 2 時 (☆) 祭りや年中行事の伝 統とその変化①	<ul style="list-style-type: none"> ・班で役割を分担し、東北地方で行われている大きな祭りの情報 (開催時期、開催場所、観光客数、目的、どんなことをしているか、どんな物を使っているかなど) を集め、オクリンクを活用してスライドにまとめる。
第 3 時 (本時☆) 祭りや年中行事の伝 統とその変化②	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめたスライドを班で共有し、東北地方の祭りの特徴についてまとめる。 ・祭りの目的の変化について、参考資料を基に考える。 ・祭りのさらなる発展について、課題を基に考察する。
第 4 時 伝統工芸品の生産・ 販売とその変化	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の伝統産業の歴史や、利点と欠点について理解し、産業を成長させるために必要な工夫を考える。
第 5 時 過去の継承と未来に 向けた社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の被害から、東北地方ではどのような取り組みを進めてきたのかを理解する。 ・単元を貫く課題の納得解を作る。

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
東北地方の祭りの特徴を理解し、目的の変化や祭りの発展について考えることができる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
10分	1.各自で調べた祭りの特徴を、班で説明し合う 開催時期、開催場所、観光客数、目的、どんなことをしているか、どんな物を使っているかなどを説明しあい、それぞれのワークシートにまとめていく。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 「日本全国祭り図鑑」、 「日本の祭り解剖図鑑」、 「伝統行事がわかる図鑑」などの図書やタブレット端末を活用して、実際に各地で行われている祭りの情報収集を行う。 </div>
15分	2.祭りの目的の変化を考察する(個人→班) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 東北地方の祭りの目的は、どのように変化してきているだろうか？ </div> 祭りの目的が、過去から現在にかけてどのように変化してきているのかを考える。農業の豊作を祈願することが主であった時代から、徐々に観光業としての祭りに変化していることを捉える。 資料『東北地方の産業別人口割合の変化』、『東北地方の工業出荷額の変化』などを活用して考える。	
○	3.祭りの課題を理解し、さらなる発展のための工夫について考える(個人→班) 資料から、東北地方の祭りにはどのような課題が生じているのかを理解する。その課題を克服して、さらに良い祭りを作るためにはどんな工夫をすれば良いかを考える。 資料『東北6県の人口減少』や、経済に関する資料を活用する。	・祭りの目的の変化を、自分にも関わりのある事であると捉えさせる。 ・課題を克服し、それが祭りのさらなる活性化に繋がる内容を考える。

図書館活用ポイント

評価基準【思考力、判断力、表現力等】評価方法【ワークシート】

祭りの目的が、気候の特徴上豊作を祈ることが多かったが、観光業を発展させるために変化していること

〈生徒の具体的な姿〉

A 祭りの目的の変化について、自分との関わりも踏まえて説明することができている。

B 祭りの目的が過去から現在にかけて変化していることを、各資料から発見することができている

〈指導の手立て〉

資料から分かる情報だけを使っている生徒に対して、自分の生活との関わりがないかを考えるようにもう一度伝える。